



キャッチボール
Catchiホール
二川ひでとし 県政ニュース

挑戦から前進
夢のある未来へ

ふたかわ 英俊
ひでとし

〒312-0033 ひたちなか市市毛1077 TEL: 029-273-6826 FAX: 029-276-6606
E-mail: futakawa_hidetoshi@mocha.ocn.ne.jp
URL ▶ <https://www.futakawa-hidetoshi.net>



令和4年度 第1回定例会開催

茨城県議会令和4年度第1回定例会が2月25日から3月24日までの会期で開催され、令和4年度当初予算、令和3年度補正予算が可決承認されました。今回は決定した予算と主な事業の概要について報告します。

本年度の当初予算は県民の命と健康、暮らしを守り、社会経済活動との両立に注力し、「いばらきの底力」を最大限引き出し、未来を見据えた政策を積極的に推進することを基本方針として県民幸福度No.1の「新しい茨城」づくりに挑戦するものとしています。新型コロナウイルス感染症の収束をめざす中、感染症対策や産業対策、農林水産業、人財育成等、幅広い分野での施策を展開し、カーボンニュートラルへの取り組みや高校再編のための施設整備などで新たに予算計上する一方、人件費、公債費などが減少するため、歳出規模は4年ぶりに減少し、当初予算としては一般会計で1兆2,816億7,900万円が計上されました。その中で、感染症対策としては1,750億9,800万円となっております。

今回の当初予算は知事の新たな任期の最初となる予算編成となりますが、新たな県総合計画とともににより積極的な施策の展開がなされるものと考えます。



令和4年度茨城県当初予算

会計名	予算額	対前年比(%)
一般会計	1兆2,816億7,900万円 (1兆1,065億8,100万円)	▲1.0 (▲2.3)
特別会計	4,503億8,200万円	+3.0
企業会計	1,254億4,200万円	+1.9
計	1兆8,712億300万円	+0.1

※()は新型コロナウイルス感染症対策関連を除いた額及び伸び率

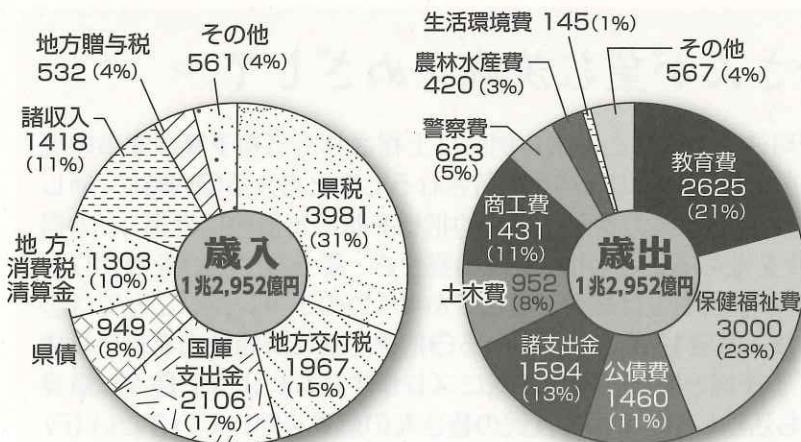
一般会計の特徴点

一般会計は前年度当初予算比べて▲1.0%で当初予算規模としては4年ぶりの減少となっております。その要因は、人件費、公債費の減少によるものとなっております。

歳入では、県税収入総額は新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、積極的な財政支援により企業収益が増加し、前年度比+10.4%、+374億円となっております。地方交付税は+5.3%で普通交付税が+99億円、前年度比+5.3%となるものの、臨時財政対策債は前年度比▲70.6%の265億円となり、地方交付税と合わせた実質的地方交付税は前年度比▲19.4%の2,232億円となりました。また、県債の発行額は公共投資に充てる県債や特例的県債の減少などにより、前年度比▲42.1%の949億円となっております。

歳出では、義務的経費は人件費が給与改定に伴う所要額の減少等により▲3.6%、公債費は過去の高利率の県債残高の減少により利子が減少することで▲0.3%となり4,818億円(▲2.5%)となっており、全体の37.6%を占めています。投資的経費については国保公共事業の河川整備や橋梁補修などの進捗を図ることとし、前年度実績ベースの見込みで前年度比▲9.6%、県単公共事業は通学路の安全対策や道路、堤防の補修費等の維持管理・長寿命化対策や防災インフラ整備などを着実に進めるほか、新産業廃棄物処分場関連道路の整備に取り組むため、前年度比+4.1%となっております。約款別にみると、教育費は▲3.1%、土木費▲8.1%、保健福祉費は+18.0%となっており、新型コロナウイルス感染症対策費は1,750億円で感染症拡大防止策、医療提供体制の整備や、県民生活等への支援策、県内産業への支援策が計上されています。

一般会計の構成 単位:億円





条例の制定 一部改正

- ・茨城県犯罪被害者等支援条例（議員提案）
- ・茨城県小規模企業振興条例（議員提案）
- ・茨城県行政組織条例の一部改正（保健福祉部を保健医療部、福祉部に再編）
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正（非常勤職員の取得要件の一部廃止）
- ・茨城県国民健康保険財政安定化基金条例の一部改正（規定の追加）等

令和4年度の主な事業と予算

令和4年度の主な事業を紹介します。

I 新しい豊かさへのチャレンジ

- カーボンニュートラル産業拠点の創出を強力に推進するため、企業連携の先導モデル構築や金融支援に取り組む
 - カーボンニュートラル先導モデル推進事業 **5,000万円**
 - カーボンニュートラル産業拠点創出推進事業 **3,800万円**
 - 中小企業資金融資制度関連事業 **18億300万円**
- 圏央道周辺地域の「坂東山地区」に新たな工業団地を造成
 - 工業団地整備調整推進事業 **9,800万円**
 - 坂東山地区土地造成事業 **53億円**
- 需給調査・マッチング、リサイクル飼料研究など、フードロス削減プロジェクトを推進

いばらきフードロス削減プロジェクト推進事業 **1,100万円**



III 新しい人財育成へのチャレンジ

- つくば工科高校・友部高校の改編整備
 - 県立高等学校改革プラン推進関連事業 **1,000万円**
R5年度に改編するサイエンス専科高校（現つくば工科高校）、IT専科高校（現友部高校）において、実習室・実習機械の整備するとともに、中高連携の取り組みを民間委託し教育内容の充実を図る。
- 県全体の大学進学率向上
 - 大学進学率アッププロジェクト事業 **8,200万円**
大学進学講演会・学力データ分析・AIドリルの活用などにより、大学進学率の向上を図る。



IV 新しい夢・希望へのチャレンジ

- 県産品の輸出拡大や本県への誘客促進
 - 台湾いばらき経済交流促進事業 **5億円**
 - いばらきグローバルビジネス推進事業 **1億5,200万円**
- つくばエクスプレスの延伸に向けた調査・検討
 - TX県内延伸調査検討事業 **1,800万円**
県総合計画に位置付けたTXの県内延伸の4方面について調査・検討を行い延伸方面の一本化を図る。
- 県北地域の中小企業の新規事業展開支援
 - 県北起業家育成事業 **1億2,500万円**
 - 県北中小企業意識改革事業 **1,200万円**
本質的経営課題に対する「気づき」を促すセミナーの開催やビジネスプランの策定支援を行う。



II 新しい安心安全へのチャレンジ

- 介護人材の確保
 - 介護福祉士養成校外国人留学生受入支援事業 **900万円**
 - 介護職種技能実習生日本語能力向上支援事業 **600万円**
- ケアラー・ヤングケアラー支援
 - ケアラー・ヤングケアラー支援事業 **900万円**
実態調査・理解促進・認知度向上の取り組みを行う



編集後記

～県民の皆さんが望む茨城をめざして～

㊦令和4年度第1回定例会が閉会し、当初予算が可決承認された㊦本定例会に上程された当初予算は知事の現任期における最初の予算となったが、新たな挑戦を始める施策の展開が期待されるものとする。同時に、新しい県総合計画の中でいばらき幸福度指標が導入された。本県の状況を客観的指標を基に定量的に把握し、幸福を見える化した上で政策課題を明確化し課題解決を進めるとともに、本県の豊かさ・暮らしやすさをわかりやすく発信するものである㊦今回の幸福度指標による全国順位は総合で9位であり4つのチャレンジごとでは①豊かさ6位、②安心安全38位、③人材育成2位、④夢・希望13位となっている㊦指標を基に課題抽出を行い具体的な対策を講じていくこととなるが、行政がめざす茨城と県民が望む茨城にズレが生じないように様々な意見を基に取り組んでいく必要があると考える。今後も活動していく中で住民の皆さんの意見を聞いていきたい(F)